

# JAMS NEWS

## Japan Association for Management Systems

日本経営システム学会 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム 703

### 日本経営システム学会 第44回全国研究発表大会のご案内

日本経営システム学会第44回全国研究発表大会は、平成22年6月5日(土)、6日(日)に、東海大学で開催されます。つきましては、多くの方のご参加をお願い申し上げます。

#### 記

開催日：平成22年6月5日(土)、6日(日)

開催場所：東海大学 高輪キャンパス

〒108-8619 東京都港区高輪 2-3-23

アクセスマップ([http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic\\_map/shared/pdf/takanawa\\_campus.pdf](http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/takanawa_campus.pdf))

連絡先：東海大学 情報通信学部 経営システム工学科 西口宏美

TEL:0463-58-1211(代)内線 4482 FAX:0463-50-2055

E-mail:nishilab@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

統一論題：「経営システムにおける経営品質」

基調講演：木村 英紀 氏(横幹連合 会長)

「横幹技術：ものづくりからコトづくりへの橋わたし」

特別講演：尾関 章 氏(朝日新聞編集委員)(交渉中)

「今世紀、科学技術に何が求められているか(仮題)」

参加費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生会員 3,000 円(当日支払いは 1,000 円高)

非会員の学生は当日支払いの学生会員と同額の 4,000 円

懇親会費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生会員 3,000 円(当日支払いは 1,000 円高)

昼食：5日(土)は1階カフェテリアが利用できます。6日(日)は利用できませんが、周辺には飲食店等がありますのでご利用ください。なお、ご希望の方にはお弁当を用意いたしますので、振り込み用紙にてお申し込みください。

宿泊等：大学周辺には、たくさんのホテルがありますのでご利用ください。

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙にて、5月28日(金)までに上記金額をお振り込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

発表申込：本 JAMS NEWS 8 頁の研究発表申込書に必要事項を記入の上、4月2日(金)まで(厳守)に学会事務局宛に Fax. (03-3371-5185) して下さい。申込書ダウンロード、フォームによる申込みは学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jams2/> からのも出来ますのでご利用下さい。

発表原稿締切：4月30日(金)まで(厳守)、学会事務局宛

#### ■大学院生の方へ(学生発表優秀賞について)

学生セッションでは、優秀な発表を審査して学生発表優秀賞を授与しています。大学院生であれば、正会員・学生会員に関係なく学生セッションにエントリーすれば審査の対象となります。ただし学生セッ

ョンの発表原稿は、会員の種別に関係なく2ページとなります。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

#### ■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則(学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jams2/html/prerule.htm>)に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前に、ぜひご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

##### 1. セッションの種類と発表の資格

一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。

##### 2. 学生会員の発表条件

学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。

##### 3. 連名者の資格

研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。

##### 4. 発表件数の制約

同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。

##### 5. 口頭発表者の参加費支払い

口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。

##### 6. 参加費の返還について

既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。

##### 7. 発表のキャンセルと無断欠席

大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

#### 大会会場へのアクセス

- JR・京浜急行「品川」駅下車、徒歩約18分
- JR・京浜急行「品川」駅から、都バス『目黒駅行』に乗り『高輪警察署前』下車、徒歩約3分
- 都営地下鉄浅草線「泉岳寺」駅下車、徒歩約10分
- 東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金高輪」駅下車、徒歩約8分



---

## 2010 年のご挨拶

---

日本経営システム学会 第 15 期会長 松丸 正延

2010 年の第一回目の JAMS NEWS (通算 JAMS NEWS 100 号) の刊行にあたりまして、ご挨拶をさせていただきます。常日頃の学会活動おきましては、学会員皆様のご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。特に、各委員会の委員長及び委員の先生方におかれましては、ご負担をおかけしております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。また、お蔭様で会員数も順調に増加し、653 名の会員数になっております。今後とも魅力ある学会作りに邁進してまいりたいと思いますので、学会員皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

(1) さて、学会として最も重要な使命は、学術研究の推進です。先日の全国研究発表大会におきましても多数の発表をしていただきました。発表件数からもご理解いただけますように、活発な研究発表が行なわれ、学術振興の大きな役割の一端を担って、学会としての役割も立派に果たしていると言えます。これはひとえに学会員の皆様のご努力・ご協力の賜物といえます。今後とも活発な研究発表を祈念しております。

学会として最も重要な使命は、学術研究の推進であります。このことは 2009 年春の大会の会長挨拶の中でも、中国の「科教興国」を例に、「科学と教育で国を興すこと」について述べさせていただきました。「科学と教育で国を興すこと」は、いまや先進国の共通語にもなっております。2009 年 9 月 9 日の新聞報道によれば、アメリカのオバマ大統領が「ワシントン近郊のバージニア州の高校で「君たちが学ぶ勉強が国の将来を決める」という演説をしております。日本においてはどうかということになりますが、心配な点があります。11 月 25 日の新聞報道に、ノーベル化学賞受賞者で理化学研究所理事長の野依良治先生は、現在行なわれている「科学技術予算に厳しい判断の続く「事業仕分け」を批判した。」という記事があります。報道によりますと「25 日、文部科学省で開かれた政策会議先端科学技術調査会に出席し、「科学技術は生命線である。世界水準をしのぐ科学技術なくして我が国の存在はない。小手先の政策では、国は存続しない」と主張。」していることであります。野依良治先生の言われるように、「科学技術なくして我が国の存在はない」というのは同感であります。各国のトップが学術振興に言及しておりますように学術研究は世界競争に突入しております。当学会としましても学術研究の世界競争に負けないように、更なる学術研究の推進をしてみたいと考えておりますので、今後とも活発な研究発表をお願いいたします。

(2) 全国研究発表大会は学術研究成果の「発表の場」であります。学術研究成果を「論文として研究成果を公表する場」も学術研究の推進として重要であると認識しております。「論文として研究成果を公表する場」は、学会誌であります。論文の質的向上を図ることは当然であります。学会誌の発行回数を増やし研究成果を公表する機会の増大も大切なことと思います。学会誌の年 3 回の発行につきましては、引き続き編集委員会でご検討をお願いしておりますが、年 3 回の発行の可能性が高いことを申し上げておきたいと思っております。また、国際的な研究論文の公表の場の必要性が改めて認識されております。本学会では昨年 9 月に英文の論文誌 IJAMS の創刊号を、IJAMS 編集委員会のご努力及び多数の投稿者のご協力によりまして発行いたしました。理事会におきまして、IJAMS を継続して毎年発行することが承認され、多数のご投稿をいただきました。現在、IJAMS 編集委員会によりまして、今年度に Vol.2 を発行すべく、編集作業をしていただいております。論文の質的価値の向上とあわせて、研究成果の公表の機会の増大を推進してまいりたいと思っております。

(3) 前回の会長挨拶でお話しましたように、学会誌におきましても国際的な評価の格付けが行なわれ始めております。日本を除く東アジアの社会、人文科学におきまして、大学や研究機関で Citation Indexをはじめとする米国主導の「知」の格付けシステムの利用が進んでおります。昨年台湾で台湾版 SSCI(TSSCI)が発足し、台湾内の学術研究誌の格付けが行われ始めています。11 月 15 日に開催されました経営関連学会協議会(61 学会所属)の理事会・評議員会におきまして、学術雑誌ランキングのあり方に関する問題を検討するために SSCI 問題検討委員会を立ち上げ、この問題を検討することが了承されました。私はこの委員のメンバーとして検討をしていくことになりましたので、ご連絡いたします。どのような原則、ルールで学術誌を区分けし、ランキングするのかという点については、各学会の利害関係に直結する問題でもあ

ります。また、欧米主導の現状にどう対応するかという対外問題と経営関連学会協議会の構成学会をはじめ国内学会の利害をどう調整するかという内部問題という二つの局面にかかわって、明確で公平な原則、実行可能なルールの策定が求められると思います。また、これに関連しまして、当学会のIJAMSを国際的SSCIに収録されるための調査を庶務委員長をお願いいたしました。目指す方向が明確になりましたので、実現のために努力したいと思います。

(4) 一般社団法人化と公益社団法人化の検討であります。まずは一般社団法人化を目指したいと考えます。一般社団法人化検討特別委員会を設置し検討することが理事会で了承されましたので、引き続き検討をしてみたいと思います。

以上、2010年の第一回目のJAMS NEWS（通算JAMS NEWS 100号）の刊行に当たりまして、2010年の主な活動につきまして述べていただきましたが、学会員皆様のご協力なしにはこれらの施策の実現はありません。ぜひ、学会員皆様のご協力とご支援をお願いいたしまして、会長のご挨拶とさせていただきます。

---

## 第43回全国研究発表大会の報告

---

大会実行委員長 稲永 健太郎

日本経営システム学会第43回全国研究発表大会が、2009年11月28日（土）・29日（日）、九州産業大学で開催されました。今回は「不況に立ち向かう経営システム」という統一論題のもと、135名の方が参加され、72件（うち学生発表36件）の研究発表が行なわれました。

初日は、基調講演として九州経済産業局の渡辺隆史氏から『我が国経済の現状と九州における経済産業施策』という演題でご講演をいただいた後、特別講演として（株）力の源カンパニーの河原成美氏に『変わらないために変わり続ける～2018年も同じ笑顔で～』という演題で迫力のある熱のこもったご講演をいただきました。また初日の全発表終了後に行なわれた懇親会にも多数ご参加いただき、交流を深めることができました。

年末のご多忙の中、多くの方にご参加いただき、活発な研究発表ならびに議論を賜りました。皆様のご協力ももちまして、無事全国研究発表大会を開催、終了することができました。ここに厚く御礼を申し上げます。

---

## JAMS 学生研究発表優秀賞について

---

表彰委員長 田畑 智章

平成21年度第43回全国研究発表大会（於：九州産業大学）終了後、表彰委員会を開催し、司会者のご意見を聴取しながら慎重に表彰候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記の2名が学生研究発表優秀賞に決定しましたのでご報告いたします。

1. 「自動車部品加工業における納期短縮とその精度向上」

河村泰典 氏（大阪工業大学）

2. 「若者の成功体験における創造性に関する研究」

原洋平 氏（千葉工業大学）

---

## 平成 21 年度第 2 回理事会のまとめ

---

- I. 開催日時：2009 年 9 月 4 日（金），16 時～18 時 45 分
- II. 開催場所：明治大学 駿河台校舎 研究棟 4F 第 2 会議室
- III. 出席者：松丸，小田，椎原，羽田，石原，上原，上野，奥原，塩出，田畑，西口，野々山，林，山下，石井，石田，板倉，今井，金子，木全，高橋，立川，常田，松岡，山田 オブザーバー）佐々木（敬称略）
- IV. 決定事項
  1. 2009 年度第 1 回議事録の議事録の確認（西口）  
配付資料の通り報告され，承認された。
  2. 第 44 回以降の全国研究発表大会について（野々山）  
配付資料の通り，第 44 回以降の全国研究発表大会の主催校と実行委員長の候補について説明があり，承認された。候補は，第 44 回：東海大学，西口宏美実行委員長（開催日程について再調整），第 45 回：香川大学，板倉宏昭実行委員長，第 46 回：明治大学，山下洋史実行委員長，第 47 回：山梨学院大学，金子勝一実行委員長である。次いで，新型インフルエンザなどによる大会の中止決定に関しては，会長・大会委員長・実行委員長の 3 者の協議に一任し，理事会の事後承認を得ることになった。
  3. 名簿の作成について（木全）  
配付資料の通り，会員宛に会員名簿の記載内容に関する調査票を郵送し，10 月 30 日（金）を締め切りとする旨が説明され，承認された。
  4. IJAMS の発刊と今後の継続予定（石井）  
配付資料の通り，IJAMS 第 1 号の編集状況と，9 月に予定されている和文誌との同時発行について説明がなされた。そして，今後も IJAMS も継続発行に関して承認された。また，刊行費に対する国際大会特別会計からの補填が確認された。さらに，IJAMS 編集委員会の委員長が塩出先生に交代することが承認された。
  5. 会員の入退会（西口）  
配付資料の通り，入退会者の状況について説明がなされ，承認された。これにより，正会員は 515 名，学生会員 114 名となった。なお，正会員から学生会員への変更に際しては，事務局より希望者に単独での研究発表ができないなどの制限事項を連絡することになった。
- V. 審議事項
  1. 第 43 回全国研究発表大会について（野々山）  
配付資料の通り，2009 年 11 月 18，19 日に九州産業大学で開催される第 43 回全国研究発表大会の開催について説明がなされ，了承が得られた。
  2. 学会 WebSite の改定と運営方法について（今井）  
日本経営システム学会のホームページのリニューアルの計画内容について説明がなされた。特に，各種委員会関連のページを充実するにあたって，コンテンツの作成など各委員会の協力が要請された。また，英語のコンテンツ作成の担当については，継続審議とすることが了承された。
  3. 学会のシンボルマーク（木全）  
配付資料の通り，会員から募集したロゴデザインの中から組織員会の投票により上位 4 案が公表された。これに，組織委員長の考案した 3 デザインを加え，組織員会で最終決定されることになった。
  4. 規定類の整備と公開（林）  
配付資料の通り，規定類の整備の状況について説明がなされた。委員会規則の第 1 条に関しては，表彰委員会の追加と編集委員会に関しては和文誌と IJAMS の 2 誌の編集委員会へ変更することが提案され，了承された。
  5. 学生表彰の検討事項について（田畑）  
配付資料の通り，学生研究発表優秀賞に関して検討すべき事項についての説明がなされた。複数発表に対しては制限しないこと，学生発表の司会は表彰委員に限らないこととし，フロアには表彰委員を配置することが承認された。また，インフルエンザ等により発表中止となった場合の表彰の処理については継続審議とすることが了承された。

## 6. 学会の法人化について（松岡）

配付資料の通り、公益法人制度改革関連新三法の概要と、学会の法人化の必要性について説明がなされた。この件については、今後も継続審議を行なうこととした。

## VI. 報告事項

### 1. 役員及び各種委員会委員の委嘱状況について（西口）

配付資料通り説明がなされ、事務局に承諾書が未着の役員、評議員、委員がいることが確認された。早急に、役員と評議員については総務委員長が、各委員会委員については当該委員長が督促することとした。

### 2. 第42回全国研究発表大会（佐々木）

配付資料の通り、第42回全国研究発表大会の開催報告ならびに収支計算報告がなされた。

### 3. 学生表彰の結果について（田畑）

配付資料の通り、第42回全国研究大会における2名の学生研究発表優秀賞対象者についての報告がなされた。

### 4. 役員（飴富先生）の訃報について（松丸）

理事会の冒頭で、松丸会長より飴富先生の訃報の報告がなされ、理事により黙祷がささげられた。

### 5. 他学会への協賛等について（椎原）

配付資料の通り報告された。

### 6. 第3回横幹連合コンファレンス参加募集について（松丸）

配付資料の通り第3回横幹連合コンファレンスへの参加の要請がなされたので、学会からは山下常任理事と松丸会長が、連名で研究発表を行うことが報告された。

---

## ヒューマン・リソース研究部会（第80回）のお知らせ

---

開催日予定日時：2010年3月6日（土） 15:00-17:00

開催場所：日本大学 生産工学部 30号館 5F 小田部研究室

発表予定者：未定

連絡先（幹事）：金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

---

## 平成21年度 年会費お振込みのお願い

---

当学会の学会誌発行等の活動は、会員の皆様の会費収入によってまかなわれることになっております。つきましては、平成21年度の会費を未だお振込みいただいていない方にはお振込みくださいますようお願い申し上げます。

---

## 学会ホームページおよびJAMS NEWS リニューアルについて

---

広報委員会では、学会ホームページおよびJAMS NEWSのリニューアルを計画しております。学会ホームページについては制作会社と共にデザイン作業を行っており、4月に新しい学会ホームページを公開する予定です。JAMS NEWSについては、次回より新デザインでの発行を予定しております。学会ホームページ移行作業ではご迷惑をかけないように進めてまいります。よろしくお願い致します。

---

## 入会者リスト

(2009. 5. 24~2009. 11. 25)

---

### 1. 正会員入会者

氏名	所属	氏名	所属
足代 訓史	早稲田大学 大学院	高橋 秀幸	東北大学 電気通信研究所
石井 圭介	日本福祉大学	田中 信裕	九州産業大学
石塚 一弥	東京富士大学	谷崎 隆士	近畿大学
井上 市郎	大阪国際大学	名取 隆	立命館大学 大学院
猪原 政治	九州産業大学 大学院	樋口 友紀	神戸国際大学
浦野 充洋	神戸大学 大学院	堀江 浩司	広島経済大学
金井 伸次	横浜国立大学 大学院	松出 和男	三菱東京UFJ銀行
河南 一志	東京都市大学 大学院	三浦 達也	横浜創英短期大学
木佐森 健司	神戸大学 大学院	水本 智也	オムロン (株)
黄 ケイ	大阪国際大学 大学院	宮崎 智子	名古屋大学 大学院
斎藤 文	産業能率大学	安田 恭子	愛知淑徳大学
鄭 在娟	九州産業大学 大学院	山下 利之	首都大学東京
白木 由香	名古屋大学 大学院	林 裁国	韓国 大韓商工会議所

### 2. 学生会員から正会員に変更

氏名	所属	氏名	所属
木村 玲美	浜松総務部 (有)	及川 孝太	東京都市大学 大学院

シハクテイザン

### 3. 学生会員入会者

氏名	所属	氏名	所属
明部 朝英	摂南大学 大学院	坂本 旬	明治大学 大学院
浅野 裕貴	早稲田大学 大学院	洗 家集	九州産業大学 大学院
天野 由季子	愛知淑徳大学	高橋 啓	早稲田大学 大学院
林 永周	立命館大学 大学院	任 鳳	東海大学
王 麗	愛知工業大学 大学院	ハトザン パチュルン	長岡技術科学大学 大学院
川村 武大	大阪工業大学 大学院	三橋 章男	立命館大学
河村 泰典	大阪工業大学 大学院	盛田 智紀	愛知工業大学 大学院
黄 徳生	愛知工業大学 大学院		

### 4. 正会員から学生会員に変更

氏名	所属
柳田 健太	立正大学 大学院

受付番号 \_\_\_\_\_

# 日本経営システム学会 研究発表申込書

## 平成 22 年度 第 44 回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題		
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ( )	2. ( )
当日の口頭発表者には*を付す	3. ( )	4. ( )
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)	代表者名: ( )	

発表要旨 (200 字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)				

- 注: 1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。  
2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に措書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)  
3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください

## 日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703

TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185

E-Mail: keieisvs@hh.iii4u.or.jp http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jams2